

たつの市定例記者会見資料	
年 月 日	令和 8 年 9 月 7 日（月）
担 当 課	教育事業部歴史文化財課
電 話	0791-75-5450

報道機関各位

埋蔵文化財センターロビー展 「収蔵庫の隠れたおたから」第4期を実施

たつの市が所蔵している埋蔵文化財のなかには、優品でありながら特別展・企画展に組み込むことが難しいものなどが存在します。これらを有効に活用するため、埋蔵文化財センターロビーにて簡易な展示を行うものです。

第4期の展示では、令和6年度に自然科学分析を行い、市内では珍しい二上山（大阪府と奈良県の境に位置）産のサヌカイト製と判明した石器1点ならびに関連資料4点を展示します。

記

- 1 展 示 名 称 「収蔵庫の隠れたおたから」第4期
—唐荷島採集 打製石剣—
- 2 開 催 場 所 たつの市立埋蔵文化財センター ロビー
- 3 開 催 期 間 令和8年9月5日(土)～10月30日(金)
(休館日 毎週火曜日（ただし9月22日は開館）、
9月24日（木）、9月30日（水）)
- 4 展 示 内 容 唐荷島採集打製石剣1点ほか4点
- 5 観 覧 料 無料

ロビー展示 収蔵庫の隠れたおたから 展示資料について

第4期 御津町唐荷島採集 打製石剣

1. 展示資料の概要

令和6年度に自然科学分析を行い、二上山（大阪府と奈良県の境に位置）産のサヌカイト製品と確定した御津町唐荷島（室津の沖合約3kmのに位置する小島）採集の打製石剣1点と、上記の資料と同じく二上山産サヌカイトで製作された打製石剣4点（県内外から借用）。時期は 弥生時代中期（今から約2,300年前） である。

2. 来歴

『御津町史』等では「個人」の所蔵品として紹介されている。埋蔵文化財センター開館に際し、新宮宮内遺跡の発掘調査で中心的役割を果たし、たつの市とゆかりの深い松本正信氏の関連資料と同時に市が受け入れた。

令和6年度、埋蔵文化財センターで森先一貴氏（東京大学大学院人文社会系研究科）、光石鳴巳氏（奈良県立橿原考古学研究所）が実施した御津町碓岩南山遺跡出土石器の自然科学分析（石材の原産地推定）の際にあわせて分析。播磨西部では非常に珍しい二上山産サヌカイト製品であることが判明した。

3. 資料の評価

たつの市域を含めた播磨西部では、同じ「サヌカイト」だが香川県に所在する金山産のサヌカイトが使用され、二上山産サヌカイト製品は非常に珍しい。

打製石剣は生産遺跡で仕上げてから各集落にもたらされること、「石剣」と称されるが、個人が携行する万能ナイフのような道具で、交易品の可能性は低いことから、打製石剣を保有した人物（＝近畿中部に住んでいた人物）が何らかの理由で唐荷島に残したと推定される。

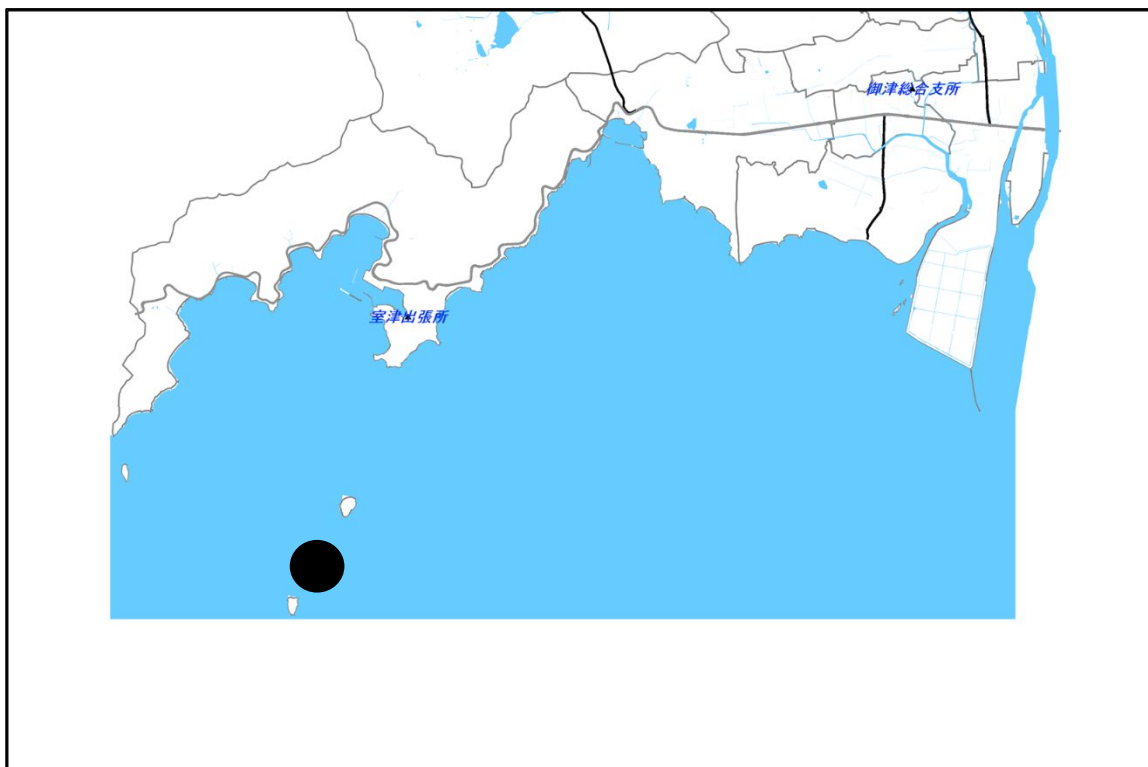
4. 本資料選定の理由

非常に珍しい事例であり、さらには海上交通における室津の重要性が弥生時代までさかのぼることを示唆する資料である。自然科学分析の結果を受けた類例調査等を終え、資料の価値づけができたことから、その成果を市民に速報的に伝えるため、展示を実施する。

展示対象の写真



御津町唐荷島採集打製石剣（長さ 8.7 cm、幅 2.9 cm、厚さ 1.2 cm、重さ 42.8 g）



展示対象の出土地点

収蔵庫の隠れたおたから

当センターが保管している考古資料のうち、学芸員イチ押しの1点を選びました！

2026.9/5(土)▶10/30(金)

会場:たつの市立埋蔵文化財センター

海揚がりの遺物は語る。



唐荷島採集の打製石剣

※その他展示資料

- ・穴栗市加生採集
- ・船山遺跡
- ・南方遺跡
- ・百間川今谷遺跡

いずれも打製石剣 4 点展示予定

【お問い合わせ】

たつの市立埋蔵文化財センター

〒679-4392 兵庫県たつの市新宮町宮内 16

Tel:0791-75-5450

開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)

休館日 毎週火曜日

入館料 無料

